

環境活動レポート

平成21年9月30日

1. 環境方針

当工場は、プラスチックの成形・加工において、業界リーダー企業としての社会的責任を認識し、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の有効活用と地球汚染の予防に取り組むと共に、積極的に地球環境の保全に貢献します。

1. 省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、リサイクルの推進に積極的に取り組み、環境保全の向上に努めます。
2. 環境管理体制を整備し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境法規制及び利害関係者との同意事項を遵守します。
4. 活動の推進にあたっては、環境目的、目標を設定して進めます。また、定期的に見直しを実施します。
5. 環境に配慮した設計・開発及び製造活動を行います。
6. 本方針を実施し、維持すると共に全従業員に対して周知徹底できるように教育と啓発活動を行います。
7. 本方針は文書化し、社外から要求があれば開示します。

平成21年7月1日

東プレ株式会社甲田工場
取締役住設事業部長
池田 芳清

2. 当工場の概要

(1) 事業所名及び代表者名

東プレ株式会社甲田工場

取締役住設事業部長 池田 芳清

(2) 所在地

広島県安芸高田市甲田町上甲立341

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 甲田工場長 森田 廣幸

担当者 ISO推進室長 吉川 由洋

連絡先 電話：0826-45-2840

FAX：0826-45-4694

E-mail：y-yoshikawa@topre1.co.jp

(4) 事業の内容

風呂蓋及び住設用プラスチック押出成形品の設計・開発及び製造

(5) 事業の規模

生産高 13億円

従業員数 87名

工場敷地面積 8,939m²

3. 環境目標とその実績

(1) 環境目標

項目	単位	2007年度実績	2008年度目標
二酸化炭素排出量	総量 (t-CO ₂ /年)	745.3	
	生産高当たり (t-CO ₂ /百万円)	0.534	0.52
廃棄物処分量	総量 (t/年)	396.1	
	生産高当たり (t/百万円)	0.284	0.2
上水道使用量	m ³ /年	1025.5	1020
コピー用紙使用量	枚/年	370,000	360,000

2006年度から2007年度にかけて生産商品の変更による生産形態の変更にて大幅な見直しを行って2007年度の目標を設定しましたが、産業廃棄物処分に対する活動が大いに進んで2008年度以降の目標を下げました。

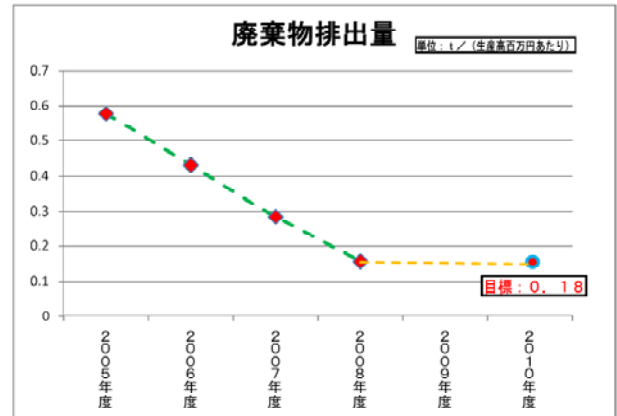
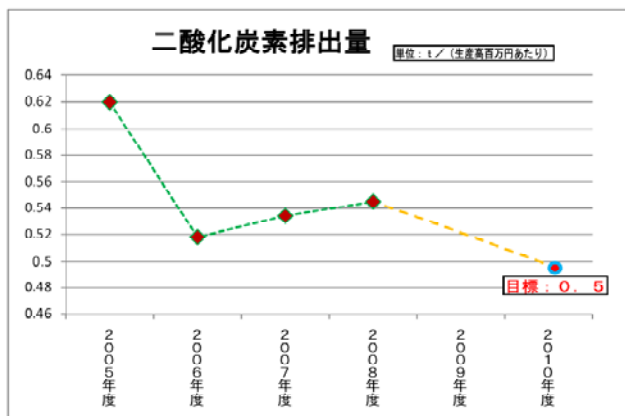
(2) 実績

項目	単位	2008年度実績	目標達成状況
二酸化炭素排出量	総量 (t-CO ₂ /年)	(730.5)	95.4%
	生産高当たり (t-CO ₂ /百万円)	0.545	未達
廃棄物処分量	総量 (t/年)	(208.4)	128.2%
	生産高当たり (t/百万円)	0.156	達成
上水道使用量	m ³	1008.5	101.1% 達成
コピー用紙使用量	枚	370,000	97.3% 未達

二酸化炭素排出量は、生産高あたりの計画比で95.4%で未達となっています。これは、生産体制の見直しで生產品の大幅な変更を行ったためです。生産効率アップの活動にて二酸化炭素排出量の主要因となっている光熱費の削減が進んでいます。廃棄物処分量は、生産高あたりの計画比128.2%と減少となっています。これは、廃棄物のリサイクル、熱利用や減容化に取り組んで工場から出る廃棄物の削減に努めました成果が出ています。上水道使用量は、計画比101.1%となって少し減となっています。コピー用紙使用量に関しては、計画比97.3%となって昨年と同じ使用量です。

(3) 環境目標

項目	単位	08年度目標	09年度目標	10年度目標
二酸化炭素排出量	総量 (t-CO ₂ /年)			
	生産高当たり (t-CO ₂ /百万円)	0.52	0.51	0.5
廃棄物処分量	総量 (t/年)			
	生産高当たり (t/百万円)	0.2	0.19	0.18
上水道使用量	m ³	1020	1010	1000
コピー用紙使用量	枚	360,000	355,000	350,000



4. 主要な環境活動計画の内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

①二酸化炭素排出量の主要素の電力使用量と暖房用の灯油使用量を削減するために、生産性効率アップを図るための各工程の作業分析を行って改善活動を行う。

(2) 廃棄物処分量の削減

①生産工程での不良によるゴミを減すために高断熱蓋不良削減プロジェクトを立ち上げて改善活動を行う。

②廃プラスチックの粉碎にて再資源化を行う。

(3) 上水道使用量の削減

①水道水使用に対する啓発活動を行う。

(4) コピー用紙使用量の削減

①使用済み用紙の裏紙コピーの活用を行う。

②パソコンにて電子ファイル化を進める。

③FAXから電子メールを使用する。

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 二酸化炭素排出量

各製造工程の作業改善によって、電気使用量が前年度より3%削減と灯油使用量が2%削減となった。

(2) 廃棄物処分量

高断熱不良削減プロジェクトの活動において不良を半減する事が出来た。

(3) 上水道使用量

啓発活動にて、各人の環境に対する意識付けが進んでいます。このまま啓発活動を行っていきます。

(4) コピー用紙使用量

裏紙の活用やスキャナー購入にてPDFファイル化を行ってきました。更に、工場外の他部署に対して出来るだけFAXを止めて電子メールにて連絡をするようにしました。工場内の他部署に対しても印刷物でなく、出来るだけE-mailにて連絡をするようにしました。

(5) 環境配慮商品

環境に配慮された風呂フタの生産ウエートが増加しています。新規商品の開発において環境に配慮した商品開発が進んでいます。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

排出規制、公害防止関連の法律、廃棄物リサイクルに関する法律、製造等の法律、労働安全衛生法等の違反について、関係機関から特に指摘は無く、訴訟等も同様に一件もありません。